



SNCウェアラブルデバイスを使った疾患の予防・早期発見ツール

渡邊 毅¹

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部予防医学分野

心筋梗塞は怖い

仲の良かった知人が**心筋梗塞**で亡くなりました。
一人暮らしだったので、発見が遅れたそうです。

不整脈を早期に検知できれば助かったかもしれません。
そんな残念な死を減らすために
予防・早期発見ツールの開発を目指しています。

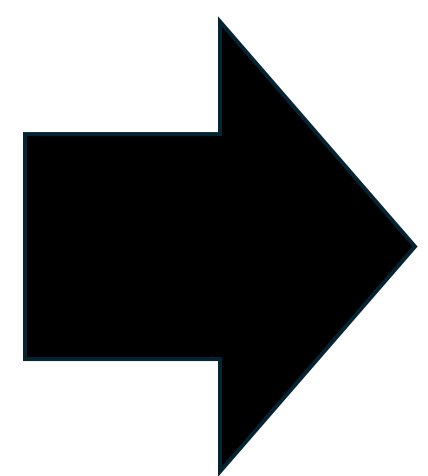


腕時計をつけているだけで残念な死を防ぐ

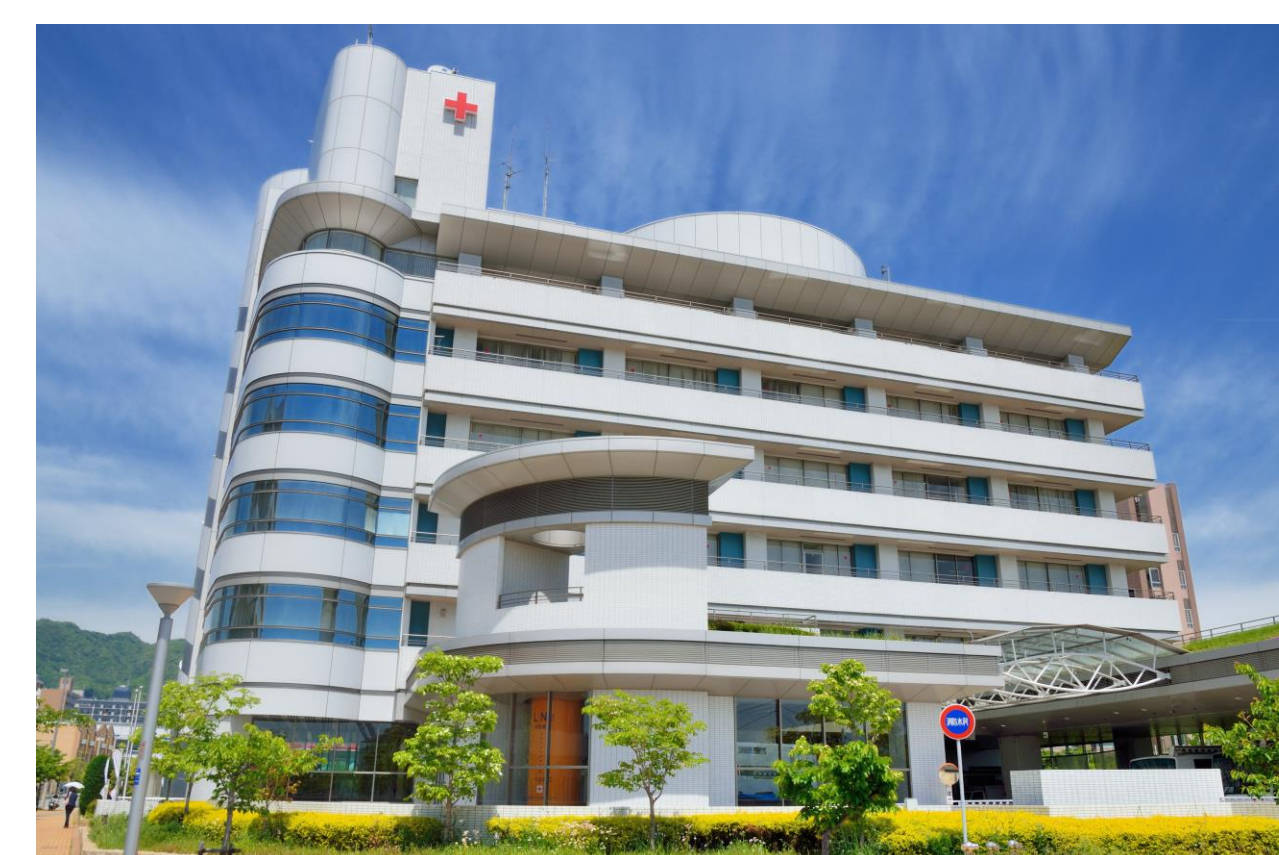
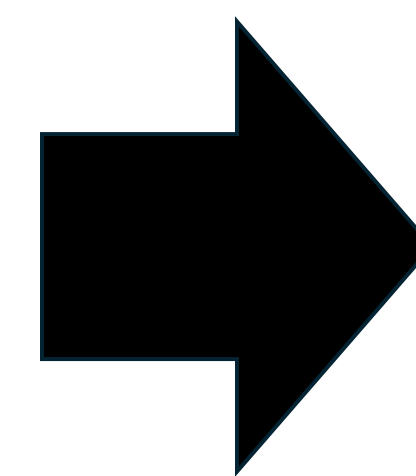
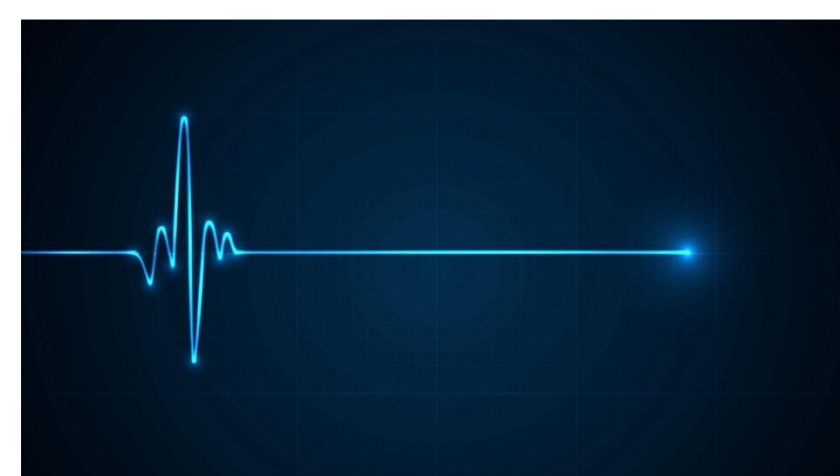
スマートウォッチをつけて
日常生活

スマートウォッチの情報から
AIで心電図を予測、異常を検知

倒れる前に病院へ！



mSafety
(SNC製)



スマートウォッチに内蔵する「**AIによって心電図を予測、異常を検知する**」アプリの開発を行っています。

AIで「予測する」心電図がなぜ良いのか？

- ・ 健常者がホルター心電図をつけ続けるのは難しい。
- ・ スマートウォッチをつけている間ずっと「予測する」心電図情報が得られれば、**日常生活に影響なく簡便にモニタリング可能。**

→心電図異常を早期に察知できる！

- ・ ホルター心電図は運動時にはノイズがあるためうまく計測できないが、**「予測心電図」であればノイズの影響を排除することが可能。**

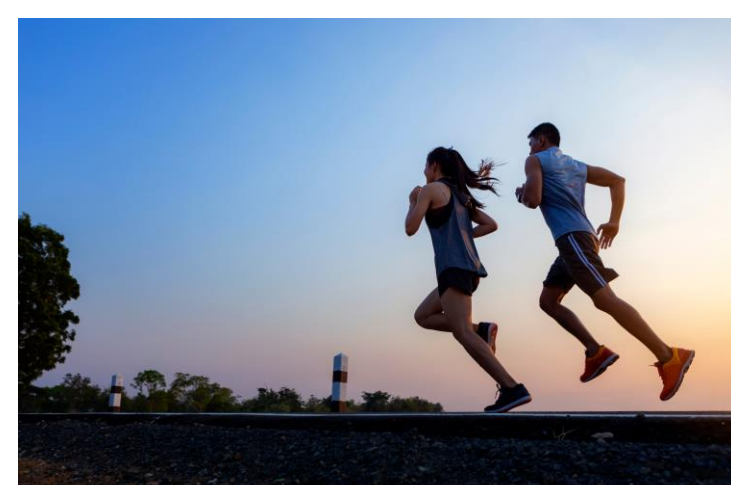


活用例

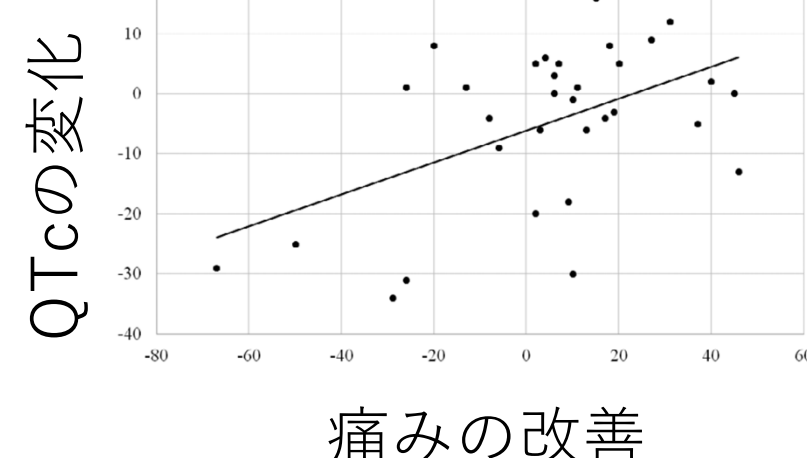
①循環器疾患の早期発見



②運動時の突然死の予防



③慢性疼痛の客観的指標として



AIの力でみんなが健康に生きられる社会に

- ・ 異常の早期発見
- ・ 突然死の予防
- ・ 痛みのモニタリング、ケア

徳島大学の医工連携で
人々の健康に役立つAIの社会実装を目指します。

本研究は日本学術振興会科学研究費補助金（24K20112）
科学技術振興機構共創の場スタートアップ創出支援
（国立循環器病研究センターJPMJPF2018）
のサポートを受けています。

連絡先：watanabe.takeshi.2@tokushima-u.ac.jp

予防医学分野のホームページです。
ぜひご覧ください

